

ここに山田先生との中学時代の思い出と私の思ったことを書き込みさせて戴きます。

山田先生が町田市立第二中学の三年の担任になって私たちの部屋に新学期を迎え新たに担任の先生になり教壇に立ちお話しはじめた時の印象は数学の教師・・・また口元から八重歯が見えて目が大きく淡々とお話しはじめてから、笑うまでは怖そうだな・・・と思ったのが第一印象でした。

毎日・・・毎日・・・授業指導。その他、今となってみればいろいろなことが取り巻く教師生活の中で、毎日下校の HR に持ち帰らせるための1日の学校行事や教師から生徒の変化を保護者に伝えることを原稿を作成し毎日毎日ガリを手で刷り完成させ配る教育の姿勢にはとてもまねできない熱血と語るには語り継げない教師・・・そして山田先生とゆう一人の人間の素晴らしく生きる全てが生徒の気持ちをつかんでいたと感じます。

当時からカットや絵が、先生自身が考えてわら半紙いっぱい文字と併用し「伝えることはまだある！！」そんな気持ちがその1枚に文字ながら思いまでも生徒の心に刻まれていたことです。

先生はある朝の HR で難しい表情で話し始めました。

山田：先生は残念に思う・・・この3年生の共有する流しの排水溝がゴミで詰まっている。

確かに自分がやったのではないと思う人や・・・やった人が掃除すればいい。

と感じるかも知れないが、気が付いた人が誰か1人でもいれば、それを見て気がつく人が出てくると先生は思うからこのクラスの生徒がその先頭になり人を動かす初めになることを希望したいこのクラスから始めようではないですか？

HR が終わり・・・皆が見るが実施しなかった。

私は、勉強はさほどその時代大事だと思っていないでそこないだったが、素直さや正しい冒険は覗いてみたかった。

直ぐに流しに飛んで行った。

かたづけ始めると・・・廊下で遊んでいたクラスメートと一緒に参加して来た。

その様子を生徒の対応を少し教室から出遅れて出てきて、山田先生の口から八重歯が出て・・・。

私の頭を右手で優しく抑えるようにぼん！ぼん！と{ありがとう！！と言いながら・・・笑顔で立ち去った。

ひとつのやればできる・・・大事なこと・・・人に伝える共同作業であった。

そして忘れてはいけない大きな私の思い出の一つ・・・まだ生死には程遠い時代の背景の中に中学時代をむかえていた私達の大事な最後の中学の1年
進学・・・進路・・・どんどん圧迫感の中でその大きな課題に送られる生活・・・。

そして1度も出席できずに居た〇〇さん・・・席は毎日空席・・・。

山田先生は〇〇さんの話をしていることがあり私も気にはなって学生生活を送っていた。
町田第二中学の登下校の中には町田市金森との境から1時間以上徒歩で通う学生も多かった。

〇〇さんは体操部平均台から落ち病が判明したのかも知れない。

町田第二小学校の裏門を左に長い下りに入り、第二中学正門にたどり着くまでは上り坂になる。

そんな折、〇〇さんは苦しい・・・苦しい・・・と漏らしていたことを私は体操部の仲の良い同級生に〇〇さんの様子を気にして訪ねた折聞いていた。

高校の受験真っ最中に〇〇さんの訃報は山田先生の朝の HR で告げられた。

山田：〇〇さんが亡くなりました。

このクラスから通夜・告別式に出席をしたいと思います。

O氏：話し合いがなされこんな大事な時に全員出席なんてできません！！

そんなふうに真っ最中の雰囲気だった。

私は勉強より大事なものがある……。

必ずある……。そう自問自答し

私：先生立候補します！！

推薦なし・・・立候補・・・なし・・・の緊張の中で息どおりを感じ始めていた。

思わず勉強は手をおそろおそろ挙げる私が右手をピーン！と伸ばし山田先生に向け上げた。

クラスの皆も決まり拍手して出席することになった。

母：貴女が・・・1番大事な時なのに……。

私：えっ？

母：でも落ちてでも大事なことだと思うから〇〇さんきちんとやることを学びお別れを言って来なさい。

そう母は勉強のできない私を思い気が気ではなかったと当時を思えば優しさと大事さを導いてくれていたと当時を振り返り思う。

入院中もお見舞いに行った際に髪の毛が抜けると掃除の叔母さんがよく髪の毛が落ちているねといやな顔されるのが辛いと話している〇〇さんを思い友人と励ましたり、放射線の治療を付き合い、話を聞き耳を傾けていた当時が鮮明に同病院の同じ場所で蘇る。

私はそのたびに中学時代を思い出し、〇〇さんも共に苦しい時患者さんがどうしてほしかったか……。

どう生きれば学んだことを生かせるか自問自答する機会を戴いている。

こんな大きな山田先生のやまびこが跳ね返って・・・心に響き続けている。
私は卒業式に山田先生が〇〇さんも私のクラスの生徒だと働きかけがあり・・・。
卒業式に参加することになり大きな喜びだった。

遺影を持つ人を HR で話合った。

私は思いがけず・・・O氏が推薦しますと大きな声で意見してくれました。

受験が大事・・・今が大事なことでそう自問自答した私の心に大事なことであったと
気がついてくれたんだな・・・そう心に確信できた瞬間でした。

クラスの皆が拍手をして下さり、私が卒業式に〇〇さんの遺影を式が始まる数分
前に会場になる体育館の外で〇〇さんのお母さんが涙し

宜しくお願い致しますと・・・遺影を私に託しました。

山田先生が〇〇と呼び私が返事をし、立ち上がり説明があり、後に遺影を向け立
ち上がりました。

〇〇さんのお母さんは泣き崩れていました。

そして・・・皆さんが私の胸に抱かれていた〇〇さんを見つめ涙していました。

ただでさえ辛い・・・新たな旅立ちの時間の中で障害を乗り越えることのない中学時
代の思い出です。

とうとう経験ができたと思います。

それは山田暁生先生のクラスの生徒だったからだと思います。

今、私は先生がああ頃一生懸命していた手書きを辛い病棟生活の中で思い出され
ながら書き続けていたはがきからの思いを読み終え言葉がありませんでした。

素晴らしい人だった・・・偉大な先生だった・・・そして今尚勉強させて下さり
ました。

患者からの心の叫び・・・しかと胸にこの葉書きに書かれた先生の心のありかた
を少しでも価値になるように私が余命をしまったとき少しでも先生に近づくように
ように

先生の教え子としてまだまだ先生の死は受け止められずにいますが、頑張ろうと
思っています。

先生が呼びかけたやまびこがこだまし続けることを祈りながら・・・。

やればできる・・・どんな蛹でもいつか必ず蝶になり羽ばたきますよね？

先生に深く大きな体験をさせて戴いたことに深く感謝しながら思い出を贈ります。